

2023年3月期 第3四半期 決算の概要

2023年2月8日

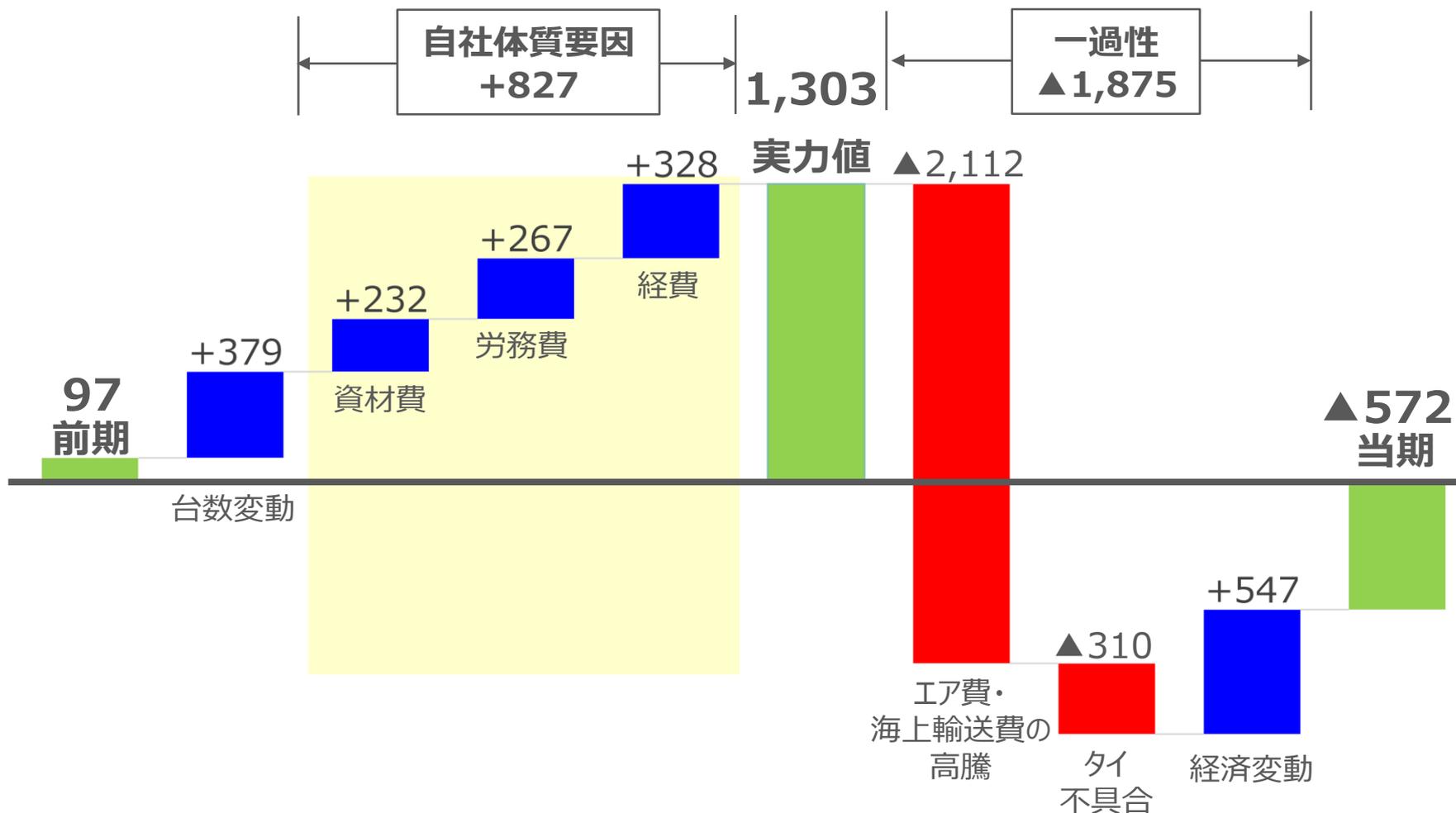
株式会社今仙電機製作所

東証プライム・名証プレミア 証券コード：7266

単位：百万円	前期 (21/12期)	当期 (22/12期)	増減額	増減率
売上高	63,467	74,210	+10,743	+16.9%
営業利益	97	▲572	▲669	—
経常利益	570	628	58	+10.0%
当期純利益	▲274	▲278	▲4	—

為替

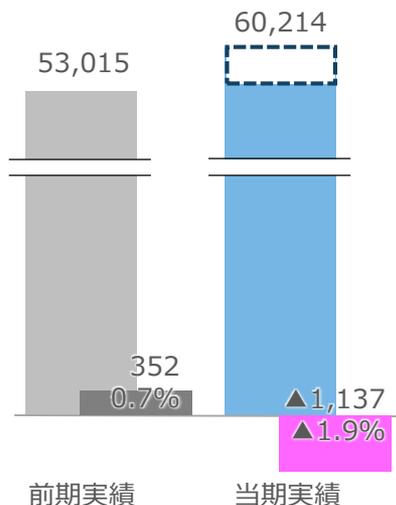
USD 前期：108.58円 → 当期：128.30円
 CNY 前期：16.79円 → 当期：19.38円
 THB 前期：3.45円 → 当期：3.70円



生産増加に加え経費改善に努めたものの、上期に発生した北米向けエア輸送費など一過性の輸送コスト等により営業損失となった

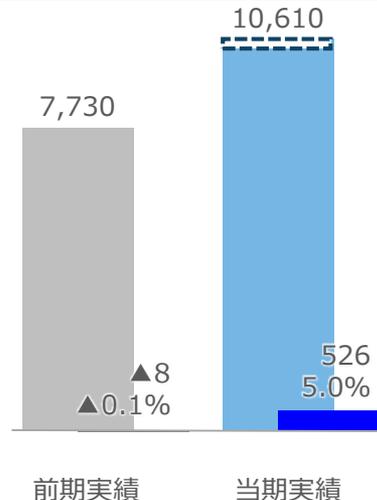
(単位：百万円)

シート・電装事業



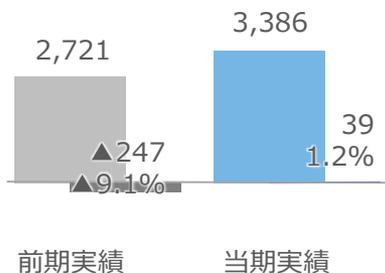
売上高	+7,199 (+13.6%)
上期で中国ロックダウンの影響があったものの、国内および北米での生産回復、並びに為替影響により増収となりました	
営業利益	▲1,489 (損失)
増収効果に加え、原価改善に努めたものの、輸送コスト増加により減益となりました	
為替換算効果額	売上収益 6,659
	営業利益 ▲156

電子事業



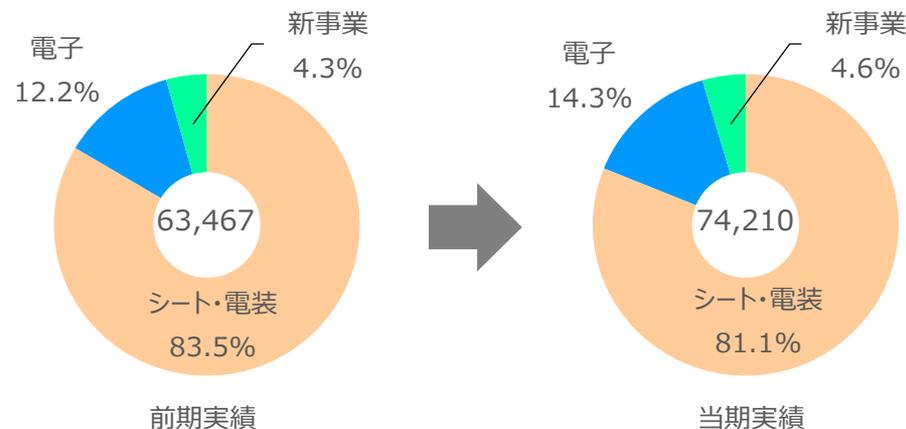
売上高	+2,880 (+37.3%)
国内および北米での生産増加により増収となりました	
営業利益	+534 (黒字化)
増収効果および諸経費抑制により増益となりました	
為替換算効果額	売上収益 558
	営業利益 29

新事業



売上高	+665 (+24.4%)
ハーネス事業および画像処理事業での生産増加により、増収となりました	
営業利益	+286 (黒字化)
増収効果および諸経費抑制により増益となりました	
為替換算効果額	売上収益 0
	営業利益 0

事業別 売上高構成

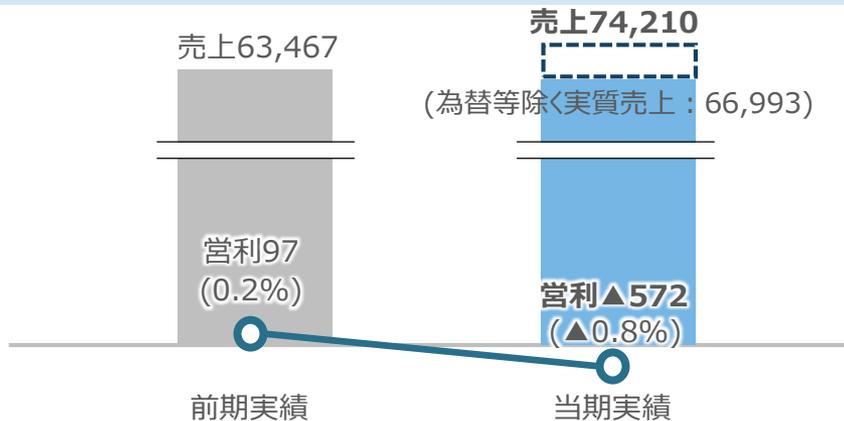


※新事業には、既存事業である非自動車関連事業を含みます。

(単位：百万円)

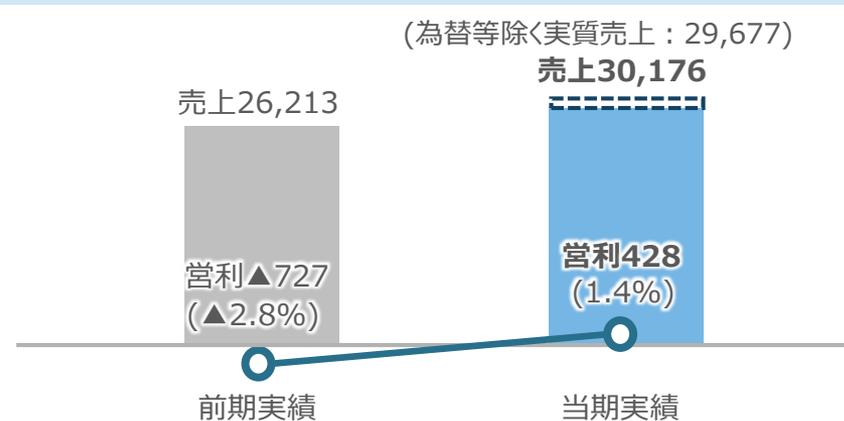
連結 (消去後)

増収および体質改善も、輸送コスト増加により減益



日本

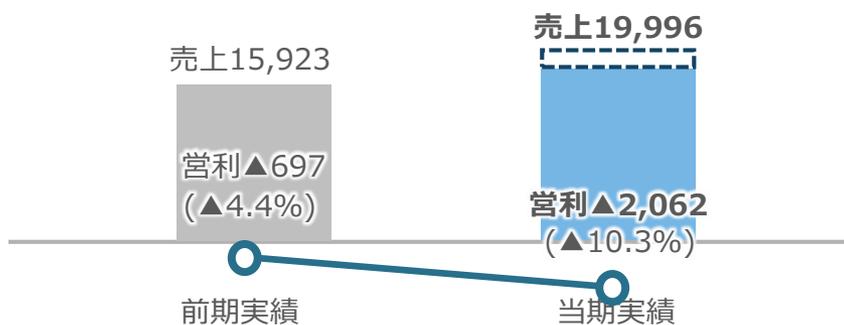
増収および体質改善により増益



北米

増収も、輸送コスト増加により営業損失拡大

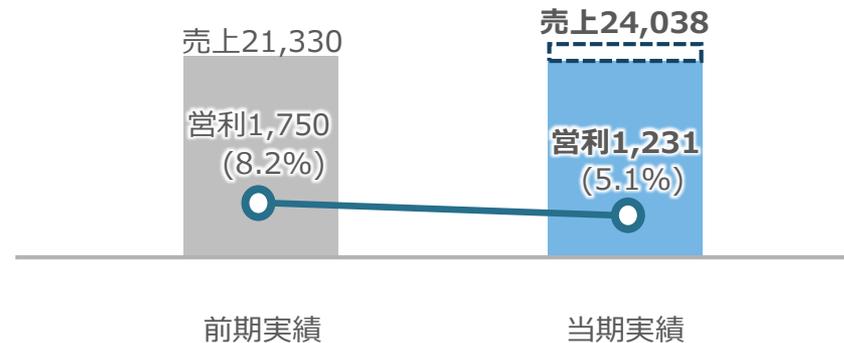
(為替等除く実質売上：16,614)



アジア

為替による増収も、タイ不具合への対応費により減益

(為替等除く実質売上：20,702)



(単位：百万円)

設備投資

	前期 (21/12期)	当期 (22/12期)	増減額
国内	1,396	821	▲ 575
北米	466	358	▲ 108
アジア	654	693	39
合計	2,516	1,872	▲ 644

<当期の主な投資内容>

- ・国内
主に**電子事業**において**機器・ソフトウェア**への投資
- ・北米/アジア
新製品立ち上がりと**生産自動化**への投資

減価償却費

	前期 (21/12期)	当期 (22/12期)	増減額
国内	1,440	978	▲ 462
北米	235	311	76
アジア	819	882	63
合計	2,494	2,171	▲ 323

- ・国内
前期において減損処理を行った影響により減少
- ・北米、アジア
前期において新規車種立ち上がりと生産移管への投資により増加

Trust & Challenge

Challenge to New Imasen

- 本資料の内容に関する一切の権利は株式会社今仙電機製作所に帰属しています。複製及び無断転載はご遠慮下さい。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。
- 実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

○IRに関するお問い合わせ先

株式会社今仙電機製作所

グローバル経営事業部 経営企画課 IR担当

TEL 0568-67-1517

URL : <https://www.imasen.co.jp/contact/>